

第 5 編 コア写真編

第5編 ボーリングコア写真編

1 適用

ボーリングコア写真編は、ボーリングコアの写真に関する電子成果品を作成及び納品する際に適用する。

【解説】

ボーリングコア写真編は、ボーリングコアの写真に関する電子成果品の作成及び納品に関する事項を定めたものである。

地質・土質調査で採取したボーリングコアの写真を電子媒体で提出する場合の写真の撮影方法や整理方法については、「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説」に従う。

2 ボーリングコア写真の電子成果品

ボーリングコア写真は、表 2-1 の電子成果品を納品する。電子成果品の名称は表 2-1 による。

表 2-1 ボーリングコア写真の電子成果品

成果品の種類	電子成果品の名称	備考
(1)ボーリングコア写真	ボーリングコア写真	「5 ボーリングコア写真」による。
(2)連続ボーリングコア写真	連続ボーリングコア写真	「6 連続ボーリングコア写真」による。

【解説】

ボーリングコア写真の電子成果品として、コア箱1箱を1枚に収めたボーリングコア写真と、それらのデジタル写真を編集して1枚に繋ぎ合わせた連続ボーリングコア写真を納品する。

ボーリングコア写真については、35mm カメラ等で撮影した写真をスキャナで取り込んだものや、ネガをフィルムスキャナで取り込んだものも納品可能である。

ボーリングコア写真については本編では特に規定しないが、報告書中の参考図として扱い、報告書の一部として「REPORT」フォルダに格納するか、または「OTHERS」サブフォルダを利用し、別途整理してもよい。

また、ボアホール画像については本編規定の対象外とするが、納品の際は、本要領「第7編 その他の地質・土質調査成果編」に従い、「OTHERS」サブフォルダに格納する。なお、ファイル仕様等の詳細については、個々に受発注者間協議の上、決定する。

3 フォルダ構成

ボーリングコア写真の電子成果品は、図 3-1 のフォルダ構成とする。ボーリングコア写真は、「PIC」サブフォルダに格納する。

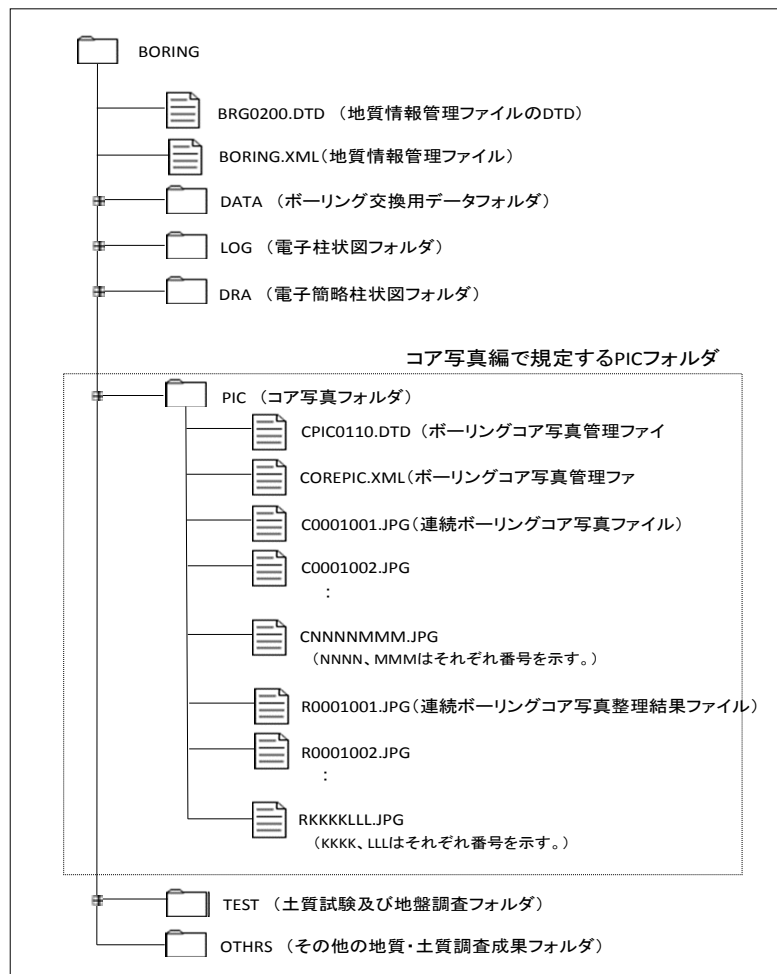


図 3-1 フォルダ構成 (PIC サブフォルダ)

【解説】

「設計業務等の電子納品要領 (案)」と「電子化写真データの作成要領 (案)」に従い、コア写真を「PHOTO」フォルダに保存する方法も考えられるが、コア写真は、ボーリング固有で客観性の高い情報であることから、「BORING」フォルダに格納する。

コア写真管理ファイル(COREPIC.XML)、コア写真管理ファイルの DTD 及び XSL ファイル、ボーリングコア写真、連続ボーリングコア写真は、「PIC」サブフォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

4 ボーリングコア写真管理ファイル

4-1 ボーリングコア写真管理項目

ボーリングコア写真管理ファイル(COREPIC.XML)に記入するボーリングコア写真管理項目は、表 4-1 による。

表 4-1 ボーリングコア写真管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記述する数
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版(「農村振興土木 201903-01」で固定)を記入する。(分野:農村振興土木、西暦年:2019、月:03、版:01)	全角文字 半角英数字	30	◎1回
デジタルコア写真情報	写真ファイル名	ボーリングコア写真、連続ボーリングコア写真のファイル名を記入する。	半角英数 大文字	13	◎N回
	ボーリング名	該当するボーリング名を記入する。ボーリングコア写真管理項目の「ボーリング名」に一致させる。	全角文字 半角英数字	64	◎N回
	ボーリング連番	該当するボーリング連番を記入する。ボーリングコア写真管理項目の「ボーリング連番」に一致させる。	半角数字	4	◎N回
	コア上端深度	撮影したコアの上端深度を記入する。単位はGL.-mとし、小数点第二位(cm)まで記入する。連続ボーリングコア写真の場合は最上端深度を記入する。	半角数字	8	◎N回
	コア下端深度	撮影したコアの下端深度を記入する。単位はGL.-mとし、小数点第二位(cm)まで記入する。連続ボーリングコア写真の場合は最下端深度を記入する。	半角数字	8	◎N回
	撮影年月日	写真を撮影した年月日 CCYY-MM-DD 形式(西暦)で記入する。(記入例:2019年9月1日の場合、「2019-09-01」)。連続ボーリングコア写真の場合は記入しない。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10 固定	○N回
	撮影時間	写真を撮影した時間を24時間表記で記入する。(記入例:14時05分の場合、「14:05」)。連続ボーリングコア写真の場合は記入しない。	半角英数字	5	○N回
	撮影日天候	写真を撮影した日の天候を記入する。連続ボーリングコア写真の場合は記入しない。	全角文字	127	○N回
	撮影箇所	写真を撮影した撮影箇所(屋内、屋外等)を記入する。連続ボーリングコア写真の場合は記入しない。	全角文字 半角英数字	127	○N回
	コア写真コメント	ボーリングコア写真毎、連続ボーリングコア写真ごとに記入すべきコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	△N回
コメント		受注者側でボーリングコア写真フォルダに付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	△N回
ソフトウェア用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。	全角文字 半角英数字	64	△N回

◎:必須入力項目、○:原則的に入力しなければいけない項目、△:任意入力項目

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字の文字数に相当する。

【解説】

コア写真管理ファイル(COREPIC.XML)は、「PIC」サブフォルダ内に格納されているボーリングコア写真の電子データファイルを検索・参照・再利用するために、最低限の管理情報を記入した XML 文編ファイルである。

コア写真管理ファイルの DTD、XML 記入例については、付属資料 2 を参照する。

4-2 ファイル形式

ボーリングコア写真管理ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

ボーリングコア写真管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。

【解説】

本要領「3 フォルダ構成」に示すとおり、ボーリングコア写真管理ファイルのファイル形式は XML 形式とする。

管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートは、各管理ファイルと同じ場所に格納する。

4-3 ファイルの命名規則

ボーリングコア写真管理ファイルの名称は、次による。

COREPIC.XML

ボーリングコア写真管理ファイルの DTD の名称は、次による。

CPIC0200.DTD

ボーリングコア写真管理ファイルのスタイルシートのファイル名称は、半角英数大文字で、以下に定めるところによる。

CPIC0200.XSL

- 0200 は DTD のバージョン番号(1.10)を示す。

ファイル命名に当たっては、次に留意する。

- ファイル名称は、半角英数大文字とする。

【解説】

ボーリングコア写真管理ファイルの DTD ファイル名は、DTD のバージョン番号が 1.00 の場合は、CPIC0100.DTD (CPIC;Core Picture の略)、12.12 の場合は、CPIC 1212.DTD となる。

ボーリングコア写真管理ファイルのスタイルシートのファイル名称は、ボーリングコア写真管理ファイルの DTD と同一のファイル名称とする。ただし、拡張子は XSL とする。

5 ボーリングコア写真

5-1 ファイル仕様

ボーリングコア写真のファイル仕様は、ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説による。ボーリングコア写真のファイル形式は、JPEG 形式を基本とし、画質が低下しない記録画素数及び圧縮率とする。撮影した写真の色調補正などの補正を行ってはない。

【解説】

ボーリングコア写真のファイル仕様は、「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説」に従い、約1mm 以上の解像度の画質を確保する。

5-2 ファイルの命名規則

ボーリングコア写真のファイル名称は、次による。

CNNNNMMM.JPG

- NNNN は当該地質・土質調査におけるボーリングに対して割り振られた連番(ボーリング連番：0001 から開始)を表す。
- MMM は各ボーリングにおけるボーリングコア写真の連番(001 から開始)を表す。

ファイル命名にあたっては、次に留意する。

- ファイル名称は、半角英数大文字とする。

【解説】

ボーリング情報とコア写真情報を合致させるため、デジタルコア写真のファイル名で用いるボーリング連番は、「第2編 ボーリング柱状図編」で規定している当該ボーリングのボーリング連番と一致させる。

1 本目のボーリングの 1 枚目のコア写真の場合 C0001001.JPG、5 本目のボーリングの 2 枚目のコア写真は C0005002.JPG となる。

6 連続ボーリングコア写真

6-1 ファイル仕様

連続ボーリングコア写真のファイル仕様は、ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説による。連続ボーリングコア写真は、1 箱ごとに撮影したボーリングコア写真をコンピュータ上で繋ぎ合わせて作成する。連続ボーリングコア写真のファイル形式は、任意とする。

【解説】

連続ボーリングコア写真の仕様は、「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)・同解説」に従う。

連続ボーリングコア写真は、写真編集用ソフトウェア、ワープロソフトウェアなどを使用して、ボーリングごとに整理する。ファイル形式は、写真編集用ソフトウェア、ワープロソフトウェアなどのオリジナル形式やPDF 形式など、一般的なソフトウェアで読み書き可能な汎用的なファイル形式であれば、自由に選択可能である。

6-2 ファイルの命名規則

連続ボーリングコア写真のファイル名は、

RKKKKLLL. 拡張子

- KKKK は当該地質・土質調査におけるボーリングに対して割り振られた連番(ボーリング連番：0001 から開始)を表す。
- LLL は各ボーリングにおける連続ボーリングコア写真の連番(001 から開始)を表す。

ファイル命名に当たっては、次に留意する。

- ファイル名称は、半角英数大文字とする。

【解説】

ボーリング情報とボーリングコア写真情報を合致させるため、連続ボーリングコア写真のファイル名で用いるボーリング連番は、本要領「第 2 編 ボーリング柱状図編」で規定している当該ボーリングのボーリング連番と一致させる。

1 本目のボーリングの 1 枚目のコア写真整理結果は R0001001.拡張子、5 本目のボーリングの場合の 2 枚目の連続ボーリングコア写真の場合 R0005002. 拡張子となる。